

1. 評価結果概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成21年 3月18日

【評価実施概要】

事業所番号	1272201490
法人名	特定非営利活動法人 なごみの家
事業所名	グループホーム なごみの里
所在地	千葉県柏市正連寺380 (電 話) 04-7132-1448

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成21年 3月13日	評価確定日	平成21年4月14日

【情報提供票より】(平成21年 2月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	27 人	常勤 9 人, 非常勤 18 人, 常勤換算 9.9 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての		1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円
敷 金	有() 円) 無()		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 210,000 円) 無()	有りの場合 償却の有無	有() 無()
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,333 円		

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名		
要介護3	8 名	要介護4	5 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.3 歳	最低 77 歳	最高 95 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	花野井クリニック、松丸歯科医院、東歯科クリニック、北柏アットハートクリニック
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅と自然に囲まれた静かな環境の中「グループホームなごみの里」がある。施設内は全面バリアフリーとなっており、充分な介助スペースも確保されている。天窓や大きな窓が設置され日当たりも良く、広い芝生の庭を有した明るく開放的な施設となっている。開設者が地元の住民だったこともあり、地域からの理解も深く、約100名で組織されている「なごみの家を支える会」があり、行事・農園管理等様々な協力を得ている。地域に根ざした施設運営に努めており、施設行事・地域行事に相互に招待し合うと共に、地域の方が気軽に訪問し、入居者と一緒に談話やお茶飲みをする等、地域との交流を図っている。地域の方々の介護相談受け付け・小中学生の職場体験や教師の研修受け入れ等の地域貢献も行なっている。定期的な往診や24時間体制の医療との連携を行い、適切な医療支援を実施している。また、手厚い医療連携を活かし、入居者・本人の意向に沿った適切な終末期の支援も行なわれている。理事長が柏市グループホーム連絡会の会長を務めている。連絡会では、合同行事が行われ、職員・入居者・家族間の交流が行われている。様々なレクリエーション・行事・外出が行なわれ、楽しみの提供を行なっている。手厚い人員配置により、入居者の希望に応じた柔軟な個別支援も行なわれている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価においての改善点として、自己評価に対する取り組みについて挙げた。今回の自己評価については、職員の意見をまとめて作成されており、適切な改善がなされている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価においては、職員の意見をまとめて理事長が作成しており、作成後は、全職員へ内容を周知している。また、外部評価実施前に職員会議の議題に取り上げ、職員全員が外部評価の意義を理解している。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	市の地域包括支援センター職員・民生委員・地域住民・家族・職員等を構成員として、年3回運営推進会議を開催している。会議では、行事活動や施設状況の報告を行い、施設理解の促進を図っていると共に、意見・情報交換を行い、サービスの質の向上に役立てている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	苦情・相談窓口を設置していると共に、家族の面会時や電話した時に意見・要望等を直接確認している。家族との良好な関係作りに努めており、意見・要望を言いやすい雰囲気作りに取り組んでいる。挙げた意見・要望においては、職員会議にて検討を行い、適切な改善・迅速な対応に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	自治会に加入しており、地域行事や施設行事には相互に招待し合う関係が築かれている。日頃から施設を開放し、地域の方が来訪しやすい環境作りに努めており、地域に根ざした施設運営に取り組んでいる。また、学生の職場体験や教師の研修等を積極的に受け入れ、地域貢献にも努めている。

2. 評価結果(詳細)

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを 支えていくサービスとして、事業所独自の理 念をつくりあげている	「自由と尊厳を守り、笑顔とやすらぎのある穏やかな生 活」と「職員の質の向上」を主眼とした独自の理念を作り 上げている。また、運営方針として「その人らしい暮らし ・第2の我が家・尊厳ある生活・地域とのふれあい」を 掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践 に向けて日々取り組んでいる	事業所内に理念が掲示されていると共に、職員会議等 で随時理念の確認を行っている。職員全員が理念を共 有し、常に理念を意識しながら、一人ひとりに合わせた 温かい支援を行っている。また、行事・運営推進委員 会・ホームページを活用し、理念・方針を家族や地域 等に周知している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員とし て、自治会、老人会、行事等、地域活動に参 加し、地元の人々と交流することに努めてい る	法人代表が地域住民であり、地域に根ざした施設運営 や様々な地域交流が行われている。地域住民の有志 が「なごみの家を支える会」を組織しており、行事開催・ ボランティア・農園管理等の協力にて多大な支援を得 ている。自治会に加入しており、地域行事や施設行事 には相互に招待し合う関係が築かれている。日頃から 施設を開放し、地域の方が来訪しやすい環境作りに努 めており、地域に根ざした施設運営に取り組んでいる。 また、学生の職場体験や教師の研修等を積極的に受 け入れ、地域貢献にも努めている。		
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部 評価を実施する意義を理解し、評価を活かし て具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価においては、職員会議にて話し合い を行ない、課題や目標を設定し、サービスの質の向上 につなげている。自己評価においては、職員の意見を まとめて理事長が作成しており、作成後は、全職員へ 内容を周知している。また、外部評価実施前に職員会 議の議題に取り上げ、職員全員が外部評価の意義を 理解している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告や 話し合いを行い、そこでの意見をサービス向 上に活かしている	市の地域包括支援センター職員・民生委員・地域住 民・家族・職員等を構成員として、年3回運営推進会議 を開催している。会議では、行事活動や施設状況の報 告を行い、施設理解の促進を図っていると共に、意見・ 情報交換を行い、サービスの質の向上に役立ててい る。		

【千葉県】グループホーム なごみの里

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	理事長が柏市グループホーム連絡会の会長及び柏市介護サービス事業者協議会の理事を務めており、会を通じて市の担当者意見・情報交換を行っている。また、施設運営全般に関する相談等を随時行ない、市との連携を図っていると共に、施設の季刊誌を市役所に設置してもらう等の協力も得ている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に入居者の生活状況や健康状態等の報告を行なうと共に、毎月、手紙に写真を添えて施設の様子を詳細に報告している。定期的に施設の季刊誌「なごみ通信」を発行しており、行事・外出等の写真や施設からのお知らせを掲載し、家族に郵送している。また、入居者の生活状況に変化があった場合には、随時電話にて連絡を行なっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情・相談窓口を設置していると共に、家族の面会時や電話した時に意見・要望等を直接確認している。家族との良好な関係作りに努めており、意見・要望を言いやすい雰囲気作りに取り組んでいる。拳がった意見・要望においては、職員会議にて検討を行い、適切な改善・迅速な対応に努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在の所、退職者は無く人材は安定している。入職があった場合には、慣れた職員と一緒に業務を行い、できるだけ早く入居者と信頼関係が築けるよう配慮している。調理や夜勤の専属スタッフの配置により職員の負担軽減を図ると共に、昇給や有給休暇制度を導入し、働きやすい勤務体制を構築している。また、意見や要望を言いやすい環境作りに努めており、職員のストレス軽減ややりがいのある職場作りに取り組んでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には積極的に参加しており、研修参加後は報告会を行い、職員全員で情報を共有している。内部研修は、在職期間や経験に応じて段階を踏んで行われていると共に、認知症についての研修も毎月実施され、職員の育成と質の向上に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	柏市グループホーム連絡会で、情報・意見交換や研修会を実施していると共に、相互の施設見学も行われ、互いに良い所を取り入れてサービスの質の向上に努めている。また、合同の外出会やコンサート等を企画・実施し、複数の施設の入居者・家族・職員が共にする機会を作り、交流を図っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学や相談を随時受け付けていると共に、必ず1～2週間の体験入居を実施し、お互いが納得した上での入居を行っている。入居後は、意向や生活歴に配慮し、出来るだけ早く施設に馴染んでもらうよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の希望や能力に応じて、家事等の生活活動を共同で行っている。職員は、入居者に対して人生の先輩として尊敬の念を持ち、豊富な知識と経験からの学びを得ており、共に支え合う関係を築いている。また、外出・外泊・日常生活においての協力を通じて家族や馴染みの人とも共に支え合う関係を築いている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の生活歴等の記録を家族に作成してもらい、本人・家族の意向や生活歴の把握に努めている。入居後は、日常生活の観察や会話の中から意向等を汲み取り、記録をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	各職員が介護計画の原案を作成した後、会議にて職員全員で意見を出し合い、介護計画の作成を行なっている。計画作成後は、全職員が閲覧をし、情報の共有を図っていると共に、家族に説明を行い、了承を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回、目標の達成状況の確認や評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行なっている。また、生活状況に変化のあった場合等は都度、介護計画の見直しを行なっている。見直しの際は、各職員が介護計画の原案を作成した後、会議にて職員全員で意見を出し合い、介護計画の作成を行なっている。見直し後は、全職員が閲覧をし、情報の共有を図っていると共に、家族に説明を行い、了承を得ている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の希望に応じて、買い物や馴染みの場所等への外出を支援している。訪問理美容の実施や入居者の希望する美容院・洋服店への付き添いを行っており、お洒落に対する楽しみを支援している。ボランティアによるアニマルセラピーや活け花教室等の楽しみ事を提供し、入居者の生活の活性化を図っている。また、「なごみの家を支える会」や柏市グループホーム連絡会等のネットワークを最大限に活用し、入居者の希望に応じた様々なサービスの提供を行なっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院外にも、希望の掛かりつけ医への受診が可能となっており、定期的に歯科・心療内科等の往診が行なわれている。また、緊急時・終末期に備え、24時間体制で病院と連絡が取れるよう体制を整えている。看護師職員により、適切な健康管理が行なわれている。また、医療機関との手厚い協力体制・病院との密な情報交換により、入院を最小限に留めるよう努めている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた方針を明文化し、家族の同意を得ている。また、個別に家族と意見・情報交換をする機会を設け、その都度、意向を汲み取っている。終末期においては、医師・家族と面談を行い、意向を確認すると共に、必要関係者との連携を取り、本人・家族の意向に添った支援がなされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の書類については、事務所にて保管し、個人情報の保護を図っている。職員は、接遇マナー研修を受け、言葉遣い・声掛け方法・申し送りの方法等に気を配り、入居者のプライバシーに配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日課に取り決めは無く、一人ひとりのペースに合わせた自由な生活を支援している。入居者との信頼関係を大切に、希望の言いやすい雰囲気作りをすると共に、日々の観察や会話の中から希望を汲み取ることとに努めており、本人の希望に沿った柔軟な支援を行なっている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の希望や能力に応じて、食事の準備や片付け等を共同で行っている。栄養士・調理師の資格を持った調理専属職員が、調理・献立作成・食材の買出しを行っており、入居者の希望・季節感・栄養バランスに配慮された食事提供がなされている。また、外食会も数多く実施され食の楽しみを広げている。		
23	57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日実施されており、入居者の希望や状況に応じて、時間・回数等柔軟に対応している。また、入居者の体調や希望に応じてシャワー浴・清拭・足浴等を実施し、清潔保持に努めている。浴室は広く設計されており、ゆったり入浴を楽しめるようになっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の希望や能力に応じて、家事等の生活活動を共同で行っている。陶芸や活け花等の趣味活動を支援しており、柏市のシルバー作品展に出展する等、入居者の特技を活かした支援が行なわれている。職員のピアノ伴奏による歌や体操等のレクリエーションがユニット合同で行なわれており、入居者の楽しみとなっている。アニマルセラピーや踊り等のボランティアの協力を得ながら多彩なレクリエーションを実施し、気晴らしの支援を行っている。また、施設には、家族・友人・地域の方々気軽に訪問しており、談話やお茶飲みを通じて、入居者はたくさんの人とのふれあいを楽しんでいる。		
25	61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に応じて、散歩・ドライブ・買い物等の外出を支援している。施設敷地内には芝生が敷かれた大きな庭があり、ベンチが置かれ、お茶飲みや日なたぼっこが楽しめるようになっていると共に、庭を活用してバーベキュー大会や行事等の取り組みが行なわれている。また、行事にて外出会を企画・実施しており、戸外での楽しみを提供している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠は行っておらず、自由な生活を支援している。玄関や外門に鈴・センサーを設置しており、人の出入りを把握できるようになっている。入居者が外に出た場合には無理に引き止めず、声掛けや見守りにより柔軟に対応している。人員配置を手厚くし、入居者の安全確保と自由な生活に配慮している。居室には鍵が設置されており、入居者のプライバシーに配慮している。		

【千葉県】グループホーム なごみの里

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の消防署の協力のもと、定期的に消防避難訓練及び消防設備の点検を実施している。緊急時・災害時の対応方法については、周知徹底が図られている。また、日頃の声掛けや交流を通じて、災害時における地域住民との協力体制が構築されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	調理専属スタッフにより、栄養バランスに富んだ献立が作成されていると共に、入居者の嗜好・能力・体調に合わせた適切な食事提供がなされている。食事や水分の摂取量を記録しており、摂取量が少ない場合には、好みの物や栄養補助食品等を提供し、必要な栄養の確保に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内は全面バリアフリーとなっており、玄関・廊下・トイレ等十分な介助スペースが確保されている。施設内は天窓や大きな窓が設置され日当たりが良く、開放的な造りとなっている。季節の草花や入居者の作品・写真が飾られ、明るく楽しい施設作りがなされている。リビングにはソファや畳スペースが設置されていると共に、廊下にもソファや書棚が設置され、入居者が思い思いに過ごせるように配慮されている。2つのユニットの行き来が自由となっており、合同のレクリエーションや行事が行えるようになっている。施設には大きな庭があり、日頃の日光浴や行事にて活用している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の希望により馴染みの物を自由に持ち込む事が可能となっており、入居者が安心して居心地良く過ごせるよう配慮されている。全室和室となっており、ふとん・ベッドの選択は自由となっている。全居室にエアコンと換気扇が設置され、適切な空調管理がなされている。		